

# CADPACCREATOR 2D Ver.22.0

## 新機能・追加機能 概要

### ■汎用機能

1. 線スタイル 右パネル GET&PUT .....	2
2. ツールバー 点検出 .....	2
3. DXF・DWG 入力 マルチテキスト互換性向上 .....	3
4. DXF・DWG 入力 寸法 .....	3
5. DXF・DWG 入力 角度寸法 .....	4
6. DXF・DWG 出力 線種 .....	4
7. DXF・DWG 出力 色 .....	4
8. DXF・DWG 入出力 変換スピード .....	4
9. バルーン .....	5
10. 寸法一括更新 .....	5
11. 公差 .....	5
12. 寸法変更、基準寸法 2 .....	6
13. 隠線順位変更 .....	6
14. システム設定 開く・保存 その他 .....	6
15. システム設定 開く・保存 保存時設定 .....	7
16. システム設定 検出 ダイナミックハイライト .....	7
17. システム設定 表示 表示制御 .....	8
18. 要素ブランク表示 .....	8
19. 要素ブランク解除 .....	8

### ■新世代機能

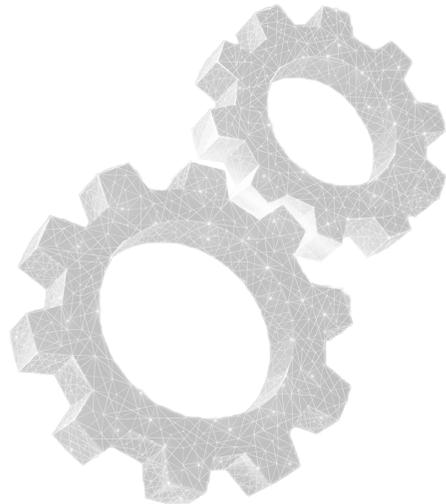
20. ヘルプ起動 .....	9
21. 側面図切替 .....	9
22. 組付 反転配置 .....	10
23. 検図、関連線 .....	10
24. 穴チェック .....	10
25. 部品ハイライト表示 .....	11
26. 要素転送 .....	11
27. 子面図編集 .....	11
28. レイヤー切替 .....	11

### ■機械オプション

29. 2010 注釈 .....	12
30. 圧縮ばね .....	12

### ■その他のオプション

31. 外部データ貼付 クリップ 貼付 .....	12
32. JIS 機械パーツ .....	12
33. SOLIDWORKS インターフェース .....	12



# Ver.22.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.22.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。  
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.21.0 からの差分です)

## 汎用機能

### 1. 線スタイル 右パネル GET&PUT

ポリライン要素全体に対して GET&PUT を行うようにしました。  
[ 基本操作 4/ 線スタイル / 属性取込 ]



従来



Ver.22.0

### 2. ツールバー 点検出

「補助 / システム設定 - 検出」内にある「検出点種別」をツールバー化しました。作図途中で点検出を切り替える事が可能になります。  
[ 基本操作 2/ 標準アイコンツールバー ]  
[ 補助 / システム設定 - 検出 ]



#### 検出点種別

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 中点検出                          | <input checked="" type="checkbox"/> 端点検出  |
| <input type="checkbox"/> 要素上点検出                        | <input checked="" type="checkbox"/> 交点検出  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 接点検出               | <input checked="" type="checkbox"/> 4分点検出 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 重ね合わせ図面/要素特異点検出    |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 中心点検出(円・円弧・楕円・楕円弧) |   |
| <input type="checkbox"/> 中心点要素同時ハイライト                  |   |

※ [ 重ね合わせ図面 / 要素特異点検出 ]、[ 中心点要素同時ハイライト ] は除きます。

### 3. DXF・DWG 入力 マルチテキスト互換性 向上

「改行されたマルチテキストを文字 BOX として入力する」がチェック ON のとき、書式コード「¥P」による改行のほか、「¥r¥n」による改行に対応しました。

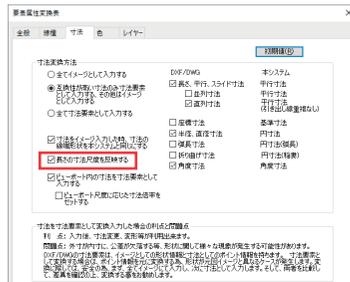
[ファイル / 外部入力 /DXF・DWG 入力]



### 4. DXF・DWG 入力 寸法

AutoCAD の寸法プロパティの [長さの寸法尺度] を CADPAC の寸法倍率として反映できるようになりました。チェックオフのときの寸法倍率は 1.0 です。

[ファイル / 外部入力 /DXF・DWG 入力]

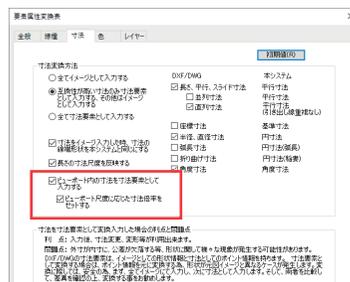


レイアウト空間のビューポートに投影されているモデル空間の寸法を、今まではイメージで入力されていたが、CADPAC 側で寸法要素として入力できるようになりました。

このとき、ビューポート尺度に応じた寸法倍率を適用するか設定することもできます。適用しないときは、モデル空間と同じ寸法倍率をセットします。

※ [長さの寸法尺度を反映する] がチェックONの時は、寸法オブジェクトの [長さの寸法尺度] を係数として反映します。

[ファイル / 外部入力 /DXF・DWG 入力]



5. DXF・DWG 入力  
角度寸法

角度寸法の変換精度を向上させました。  
[ファイル / 外部入力 /DXF・DWG 入力]

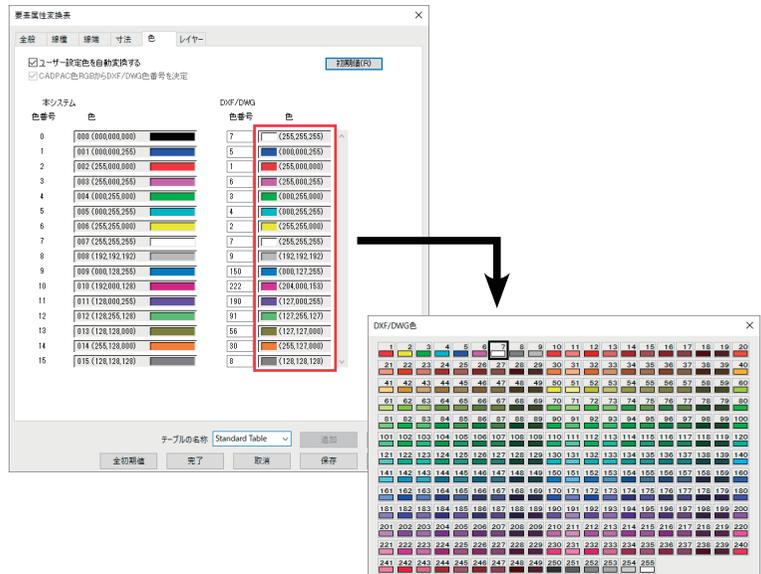
6. DXF・DWG 出力  
線種

グローバル線種尺度を指定できるようになりました。  
[ファイル / 外部出力 /DXF・DWG 出力]



7. DXF・DWG 出力  
色

色番号の設定がダイアログボックスから色指定が出来るようになりました。  
[ファイル / 外部出力 /DXF・DWG 出力]



8. DXF・DWG 入出力  
変換スピード

変換スピードの改善を行いました。  
[ファイル / 外部入力 /DXF・DWG 入力]  
[ファイル / 外部出力 /DXF・DWG 出力]

## 9. バルーン

[1. 形状] に六角形、二重丸が追加されました。  
[作図 / 文字記入 / バルーン]



## 10. 寸法一括更新

円寸法、角度寸法、面取寸法、連段寸法に対応しました。  
[作図 / 寸法 / 寸法一括更新]



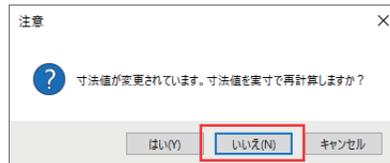
## 11. 公差

JIS B 0401 規格 2016年版に対応した公差テーブルファイルを追加しました。  
※ご利用頂くには公差コマンドの設定にて「TolerDim2016.dat」の切り替えが必要になります。

[作図 / 寸法 / 公差]



12. 寸法変更、基準寸法 2 手書き寸法値の寸法要素を変更・追加するとき、寸法値を維持したまま形状を変更・追加できるようになりました。  
はい … 寸法値を実寸にします。  
いいえ … 形状は変更しますが、寸法値は変更しません。  
キャンセル … 操作を中断します。  
[ 作図 / 寸法 / 寸法変更 ]  
[ 作図 / 寸法 / 基準寸法 2 ]



13. 隠線順位変更 Zレベルを数値で指定できるようになりました。  
また、グループ要素を選択したときグループメンバーすべてを対象にできるようになりました。  
[ 構成 / 隠線パーツ / 順位変更 ]



14. システム設定  
開く・保存  
その他 ネットワーク上にあるファイルを開くとき、ローカルにコピーしてから読み込む機能を追加しました。  
[ 補助 / システム設定 - 開く・保存 ]

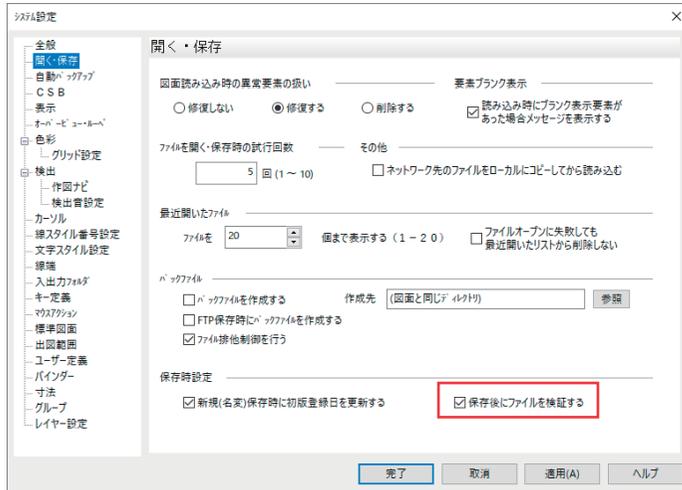


### 15. システム設定 開く・保存 保存時設定

ファイル保存時に保存されたファイルにエラーがないか検証する機能を追加しました。

※初期値はオフです。

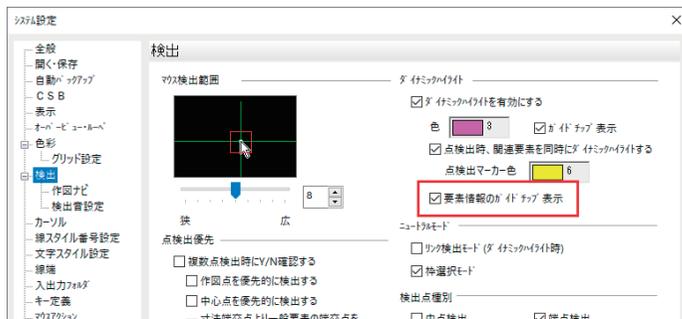
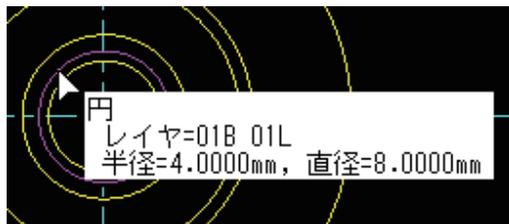
[ 補助 / システム設定 - 開く・保存 ]



### 16. システム設定・検出 ダイナミックハイライト

要素を検出したとき、その要素の情報をガイドチップで表示できるようになりました。

[ 補助 / システム設定 - 検出 ]



### 17. システム設定・表示 表示制御

二つの表示モード「ファイン表示 / 表示速度優先」のうち、表示速度優先モードを廃止し、ファイン表示モードに一本化したしました。それに伴い、表示速度優先モードでのみ動作していた機能は廃止となります。

[ 補助 / システム設定 - 表示 ]

#### 【廃止機能、設定】

[ 表示 / スムーズスクロール ]

[ 補助 / システム設定 - 表示 ]

- ・ファイン表示 / 表示速度優先 設定切り替え
- ・スムーズスクロール / スクロール範囲
- ・手のひらスクロール / イメージでスクロールする
- ・表示制御 / 基準表示のイメージを常に保持
- ・表示制御 / 新ツールバースタイル

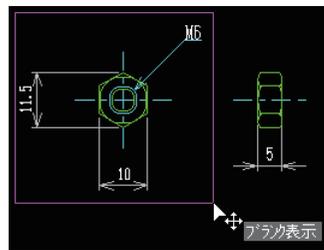
[ 編集 / 複写 / 複写 ] [ 編集 / 移動 / 移動 ]

- ・ [ 設定 ] - 枠によるドラッグ

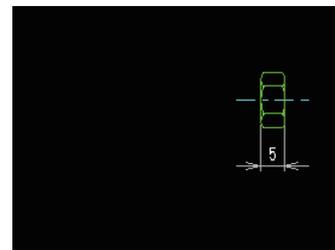
### 18. 要素ブランク表示

任意の要素を非表示（ブランク表示）にする新コマンドです。

[ 表示 / 要素ブランク表示 ]



クリックもしくは枠選択で指定

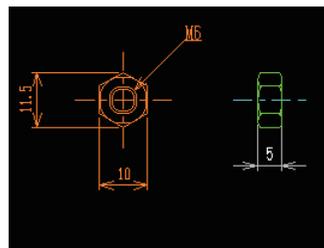


要素を削除することなく非表示化

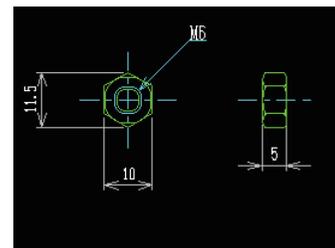
### 19. 要素ブランク解除

非表示（ブランク表示）の要素を表示（ブランク解除）する新コマンドです。

[ 表示 / 要素ブランク解除 ]



図面上のブランク表示要素が色変

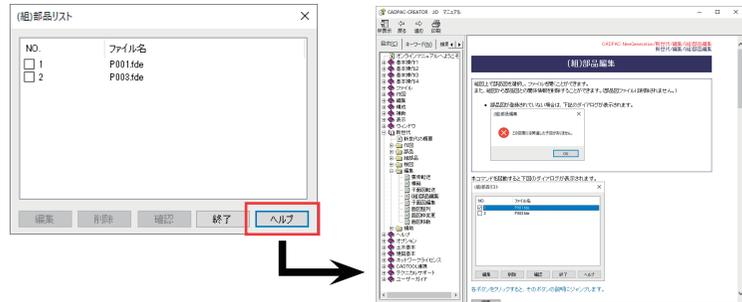


ブランク解除

## 新世代機能

## 20. ヘルプ起動

ダイアログボックスからオンラインヘルプを呼び出せるようになりました。[ヘルプ] ボタンを押すと、操作中のコマンドに該当するページが表示されます。

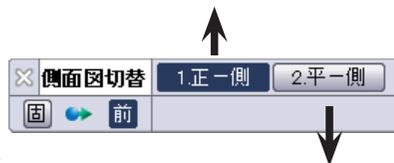
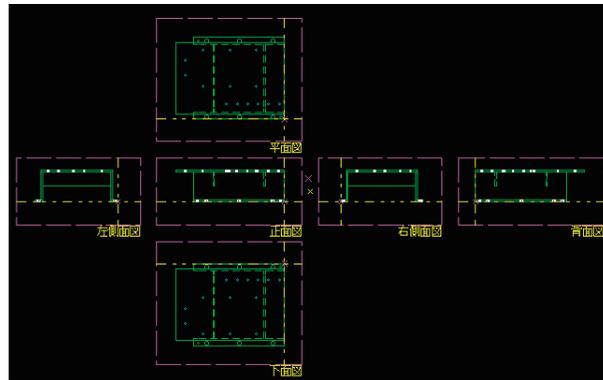


## 21. 側面図切替

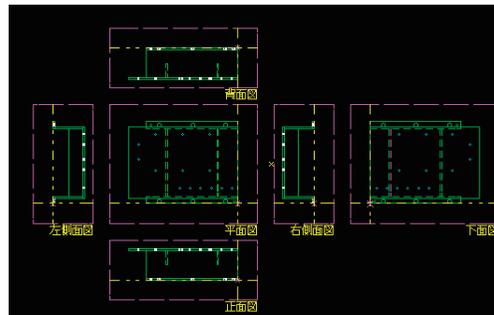
面図の「正一側」（正面図の横に側面図）⇔「平一側」（平面図の横に側面図）を切り替えられる新コマンドです。

[新世代 / 作図 / 側面図切替]

正一側

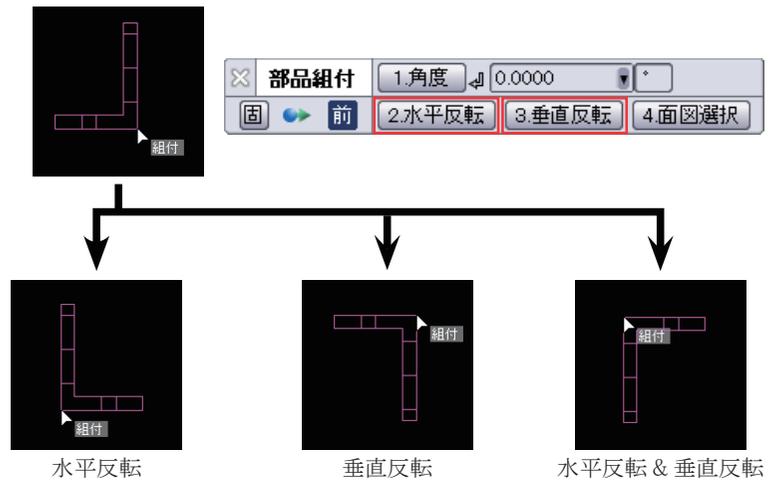


平一側



## 22. 組付 反転配置

組付時、部品を水平 / 垂直に反転させて配置ができるようになりました。  
[新世代 / 部品 / 組付]



## 23. 検図、関連線

[A. エラー記入] で注記の作図とともに、該当の検図関連線を関連線要素として作図されるようになりました。  
また、検図と関連線コマンドの CSB から相互に切り替えができるようになりました。

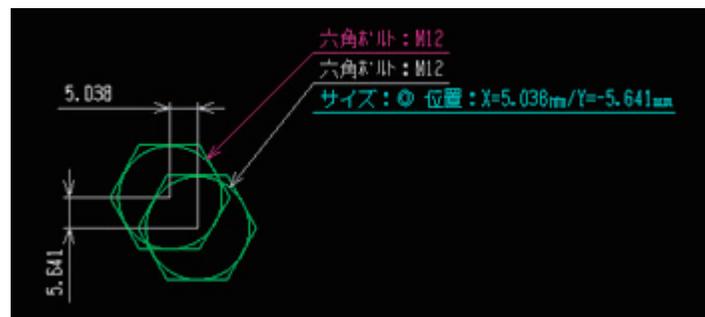
[新世代 / 検図 / 検図]  
[新世代 / 作図 / 関連線]



## 24. 穴チェック

エラー記入で作図される位置ずれの距離値を X・Y 値で表記するようにしました。さらに位置ずれの方向が +/- 値でわかるようになりました (+ 記号の作図は省略されます)。

[新世代 / 検図 / 穴チェック]



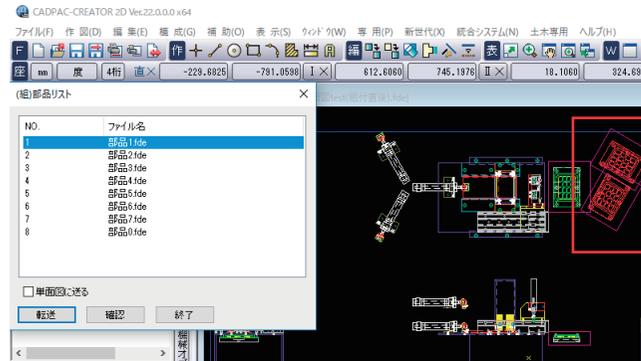
## 25. 部品ハイライト表示

選択された部品図の子面図枠および要素をハイライト表示するようにしました。

[新世代 / 編集 / 要素転送]

[新世代 / 編集 / 子面図転送]

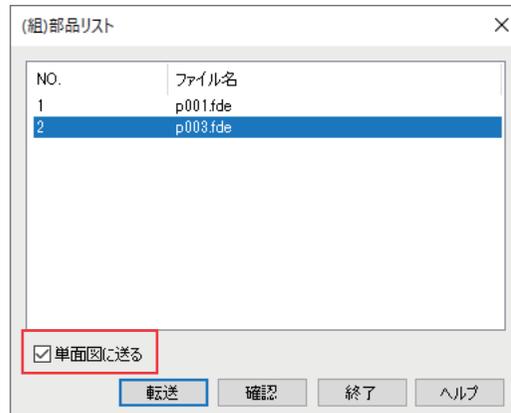
[新世代 / 編集 / (組) 部品編集]



## 26. 要素転送

要素転送時「単面図に送る」にチェックを入れると部品図の単面図を指定し面図領域外の要素も送れるようになりました。

[新世代 / 編集 / 要素転送]



## 27. 子面図編集

組付された部品の子面図の編集（移動、削除、変更、分解）ができる新コマンドです。従来の「子面図削除」は本コマンドに統合されました。

[新世代 / 編集 / 子面図編集]



## 28. レイヤー切替

通常レイヤーの要素と組付された部品を表示、非表示、レイヤーハイライト表示に切り替える新コマンドです。

[新世代 / 補助 / レイヤー切替]



